

(指定様式)

団体調書【はじめての一步部門】

(1) 団体概要

団体名	おじさんの田んぼ	HP 等 URL	
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人 (年 月) <input type="checkbox"/> その他法人 (年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 (2019年 2月)	活動分野	5・13
代表者名	役職名：代表 氏 名：松井 博行	会員数	14名
団体連絡先 (申請担当 者)			

(2) 会員名簿

--

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	<ul style="list-style-type: none">・中山間地域の休耕田・畑を活用し稲作、野菜作りを推進し地域振興を図ると共に、中山間地域の人々と交流を図ることを目的とする。・地域住民と市街在住者が一緒に稲作、畑作体験で汗を流し交流することで関係人口を増やし将来の移住者につなげる、また小規模特認校制度を活用した入学者増をはかる。
活動の内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none">・桑田和地区の3反2畝の休耕田・畑を開墾・活用し、米・野菜作りとぼた・畦の草刈りを14名の会員で実施し里山の環境・景観維持に取り組む(104日/年)・地元の高齢者を「稲作・野菜先生」として協働作業(14日/年)・こども園の園児・父兄による田植えの体験や稲の成長観察会等の学習体験会実施(3日/年)

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

- ・草刈機及び草刈機安全作業用具の購入 88,000 円
田んぼ・畑周辺の畦・ぼた、導水路の草刈り作業
獣害侵入対策のために耕作地隣接原野の草刈り
- ・田植え、稲刈り、芋ほり体験学習会のチラシ、学習会資料作成 12,000 円
- ・体験学習会の会場借用費用 4,000 円

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</p>	<p>・中山間地の休耕田は所有者の高齢化が進み面積は拡大の一途 田んぼの荒廃は地域の顕著な衰退化を表している この現状を「何とかしたい」との思いと志を持った有志が、 グループで作業に取り組むこと、農業機械の借用で経費の減 をはかり田んぼ、畑が維持できないか、我々の活動で検証し てみたい。 その結果、里山の景観が維持でき所有者が安心して暮らせる 故郷・豊田市が出来たら最高です</p>
<p>【資金】</p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</p>	<p>・活動費の確保 ★会費の増額【前年 10,000 円→本年 13,000 円】 ★稲作副産物(わら)の販売 ★休耕地を開拓し菊芋栽培拡大・出荷 ★体験学習会の有償化 田植え、稲刈り、芋ほり体験学習会の有料化 (従来は無償→本年は有料化)</p>
<p>【継続性】</p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。 ・適正な事業計画が作成されているか。</p>	<p>・4年前に有志2名で休耕田を借り稲作開始(面積:3畝) 以来、毎年地域の方より休耕田活用依頼があり 現在会員14名で3反2畝の休耕田を活用し稲作実施 ・会の運営は役員4名が年間計画を作成、全会員に 事業計画の説明、毎月のミーティングを実施(9回/年) 秋に全会員による収穫祭(反省会)を開催し会計報告と 次年度の取組方針等の話し合いを実施 ・秋の収穫祭に地域の方を招き交流を深めると共に 野菜作り勉強会実施</p>